

木場潟公園の平成19年度管理状況

施設所管課	土木部 公園緑地課
指定管理者	(財)木場潟公園協会 代表者 理事長 中野 誠太郎
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日

(1) 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務(仕様書、事業計画)の実施状況 (不十分な場合、その理由、指摘事項を記入)
使用する者への利便の提供に関する業務	施設の使用受付、案内等の接遇向上 ・園地別の特性を記入したチラシ(コピー)を配布 利用者の苦情・意見の把握・対応 ・利用者からの意見・苦情の把握(延2件) その他特記事項 ・管理センター内の美化(寄せ植えの設置)
利用の促進に関する業務	自主事業の企画・実施 ・木場潟公園花菖蒲まつり (ウォーキング大会(200人)、花菖蒲撮影会(50人)) ・木場潟キャンドルナイトウォーキング(参加人数2,500人) ・貸自転車の提供(無料) 自主事業の告知ポスター ・木場潟公園花菖蒲まつり ・木場潟キャンドルナイトウォーキング 周辺地域、関係機関との連携・協力の推進 ・ウォーキング協会、パークゴルフ協会との自主事業の連携
使用の許可に関する業務	使用許可、使用料の徴収、納入 ・使用許可の件数((2)参照) ・使用料の収入実績((3)参照)
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	清掃:トイレ、駐車場は1回/日、別に1回/日点検 保守点検:遊具、トイレ 警備:2回/日巡回 小規模修繕:適宜
(その他知事が必要と認める業務)	AED(自動体外式除細動器)講習会への参加

(2) 施設の利用状況

利用指標((設定している場合)利用人数、稼働率などの数値目標)

指標	H18年度 (参考)	H19年度	前年度比	増減理由
公園利用者数(人)	270,000	298,000	110.4%	イベント開催による利用者の増。

使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
該当なし			

(3) 使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

	収入額	減免額	減免理由
ボート	159 千円	16 千円	イベント時の無料開放

(4) 収支決算

(千円)

収入		支出	
管理料	36,926	人件費	8,020
利用料収入	159	光熱水費	4,827
自主事業収入	2,404	修繕費	1,050
		植栽等管理費	23,029
		その他	2,563
合計	39,489	合計	39,489
収支差額	0		

(5) その他、県が必要と認める事項(管理の実態を把握するために必要な事項)

利用者アンケート結果、評価、苦情、要望

年月	内容	対応
平成 19 年 12 月	県政バスアンケートにおいて好評多数	

事故、故障等

年月	内容	対応
平成 19 年 4 月	トイレ修理、電機設備の故障多数	現地調査の上、即時対応
平成 19 年 5 月	遊具の老朽化	現地調査の上、使用禁止措置
平成 19 年 6 月	トイレドアのモーター焼付、煙発生	関係機関へ連絡、現地調査のうえ、モーター取替

その他報告事項など

--

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見(工夫、改善点)
サービスの維持・向上や利用促進に向けた取組みが行われているか。	A	・日常的なサービスの向上に努め、様々な団体と協力し、イベントを開催するなど利用促進に向けた取組みが行われている。
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	A	・芝生や樹木等の維持管理は、外部委託と直営による作業区分の明確化により適切に実施されている。 ・関係団体と協力しクリーン作戦を実施するなど、園地と水質向上に向けた取組みが行われている。
適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	・非常時の連絡体制が定められ、安全対策が適切である。 ・適切な職員の配置がなされている。
その他、必要と認める事項(例:苦情処理、個人情報保護)	B	・苦情の対応体制に一部課題があるが、概ね適正に処理されている。
総合評価	A	・施設の通常管理に努め、良好な環境を維持しているため、更なるサービスの質向上や積極的な利用促進に向けた取組みに期待する。

評価基準

- A(優): 仕様書等に定める水準を上回っている
- B(良): 仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C(可): 仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D(不可): 仕様書等に定める水準を下回っている

総合評価

- A(優): 適正であり、優れた実績をあげている
- B(良): 適正である
- C(可): 概ね適正であるが、一部改善を期待する
- D(不可): 改善が必要である

(7) 助言・指摘事項

<ul style="list-style-type: none">・インターネット環境を整え、関係機関と円滑な情報伝達作業を行うと共に、魅力ある施設やイベントに関する情報発信に取り組み、公園の広報・PRに努めて欲しい。・魅力的なイベントを行い、利用促進に取り組んでいるが、通常サービスの向上にも積極的に取り組んで欲しい。
--